

第12回

—精神科認定看護師 新制度認定試験問題—

試験科目 : 基礎・専門基礎科目  
試験日 : 平成20年2月16日(土)  
試験時間 : 10:30～12:00

- ・問題は合図があるまで、開かないでください。
- ・問題はお持ち帰り下さい。

社団法人 日本精神科看護技術協会

- I. 次の各項について、正しいものに○印、誤りであるものに×印を「解答用紙－1」に記入しなさい。
1. 新入職者が組織になじむように社会化を図るが、看護学生のときから看護職の価値を内面化していくことを職業的社会化という。
  2. 組織刷新には戦略が必要で、変革理論としてレビンの変化の3段階が用いられるが、変革の過程は「解凍」「変化」「移動」のステップである。
  3. 効果的なリーダーシップを発揮するには、状況に応じてとるべきリーダーシップスタイルを吟味して、管理者の権威や権力に基づくマネジメントが必要である。
  4. グループワークをはじめるときは、いつ、どこで、誰を対象に、時間や回数、内容などをきめておこなう。
  5. 事例検討会は、事例へのよりよい看護を考えるために実際の介入過程で何が間違っていたかを明らかにする。
  6. 看護診断の用語は使いやすいように個人のレベルで適宜変更を加えて使ってよい。
  7. 研究計画を立てるときに、研究目的は特に必要ない。
  8. レクリエーション療法は計画・実施・評価と看護過程をふまえて行なうことが基本であり、人が集まった時に即興で歌を歌ったりゲームをしたりということは、レクリエーションとして捉える。
  9. SST は診療報酬を請求できるので、すべての入院患者を対象とする。グループに医師の参加と指示箋の提出が義務づけられている。
  10. 養育拒否をネグレクトというが、これは殴る、蹴るなどの暴力行為を伴わないので「児童虐待防止法」では子供の虐待には含まない。
  11. 社会福祉基礎構造改革により、障がい者福祉制度は措置制度から契約によるサービス利用制度へ大きく転換することとなった。
  12. 2007 年 4 月から新たな高齢者医療制度として、後期高齢者医療制度がスタートしている。
  13. 社会福祉援助技術のうち、直接援助としてケースワーク（個人援助技術）とコミュニティワーク（地域援助技術）がある。
  14. 子ども虐待、老人虐待、ドメスティック・バイオレンスなどを総称して「家庭内暴力」と呼ぶ。
  15. 市町村を中心した社会資源の整備に当たっては、精神保健福祉領域の専門職も当事者や市民とともに協同していく姿勢が求められている。
  16. オランダは、看護過程理論を最初にあらわした看護理論家で、熟慮した看護でしられる。
  17. マーサ・E. ロジャーズの看護論は物理学などの自然科学や社会学などの幅広い化学を踏まえて構築されている。

18. コンサルテーションは、問題を解決したり、状況をよりよい方向に変革していくことを目指して行なわれるものであり、その領域の専門家であるコンサルタントが、その領域まではまだ未熟なコンサルティにアドバイスをすることである。
19. コンサルテーションにおけるコンサルタントは、コンサルティが問題を解決する能力がない場合には、自分が主役となって問題の対処に当たる役割を担う。
20. 2004年3月に厚生労働省から提出された「新人看護職員の臨床実践能力の向上に関する検討会報告書」では、新人看護職員が安心して安全な医療を提供していけるよう、厚生労働省主導で新人看護職員を教育していく方針が打ち出された。
21. チーム医療では、専門の異なるさまざまな職種が連携する。医療チームのメンバーは、患者あるいは障がい者を支援するために、それぞれの専門性にお互いに尊重しながらも、チームの中で患者理解を共有し、その上で決定された治療方針に即して、自らの専門性を発揮することがチームの連携となる。
22. チーム医療とは、一人の患者あるいは障がい者を包括的に支援することを目的に、専門の異なる職種が連携することであり、その中でも医師はリーダーとしてチームをまとめなければならない。
23. 精神医療は他の分野と違い、精神保健福祉法の規制を受けている。
24. 閉鎖病棟における鍵は、患者を安全に保護する側面と、患者の意思に反して閉じ込めるという2つの側面を併せもっている。
25. 公衆電話は、閉鎖病棟、認知症病棟の区別なく、患者がいつでも利用できるために場所に設置することが義務づけられているが、開放病棟はいつでも利用できるため除外されている。
26. システムとはものが組み合わさって、互いに影響を与え合う集合体のことであり、人間の細胞も人間の神経システムも、人間も家族もシステムであるが、病院や病棟は生き物ではないのでシステムではない。
27. 直線因果律にも円環因果律にもそれぞれのメリット、すなわち適応範囲があると考えられる。すなわちどちらのものも見方にもそれなりに利用価値のある側面とそうでない側面がある。
28. システムの断層性とはシステムを理解する際に、さまざまな関連するシステムを断層的に理解しようとすることである。たとえば、人間の上位システムには家族や職場などが考えられ、下位システムには器官や細胞などが考えられる。しかし、国家や国際関係者は直接人間の生活に影響を与えないので人間の上位システムではない。
29. ボーエンの家族システム論では、個人の病理は家族関係の影響を強く受けている。その影響は、直接接点のある家族だけでなく、何世代にもわたる家族関係の影響が子孫に影響を与えると考える。したがって、今の目の前の家族の問題に注目することは無意味だといえる。
30. 教育は成果主義であるから、プロセスに考慮する必要はない。
31. レスポンデント条件付けは、生理的反射と関係するため、無条件刺激の提示がなくなっても、条件の刺激さえ提示し続けていけば、生理的反射の生起は減弱しない。

32. 現在の看護教育制度は、学校教育法ではなく、保健師助産師看護師法によって規定されている。
33. 看護マネジメントの 1 方法として PDCA サイクルが使われている。
34. 看護部がどのような看護師を必要としているかを考えることは、看護部の理念や基本方針を定めるということにほかならない。
35. 組織の構成要素は人間そのものでなく人間が提供する活動や力であり、意識的に調整されている。
36. 引きこもりがちの人に訪問看護をする場合、いろいろな人が訪問するより毎回、同じ人が訪問するほうが良い。
37. 医療法には、法制定時からインフォームドコンセントに関連した条項が盛り込まれていた。
38. 看護者の「よかれ」と思って行なうケアは、患者のことを考えてのことであるから、原則として正しいものとして認識される必要がある。
39. 患者が不安や、一人になりたいとの思いから隔離を希望してくることがあるが、この場合には治療的に意味のあるコーピング行動であり、隔離しても倫理的な問題は少ないと考えてよい。
40. 面接では、バーバル（言語的）なレベルの理解が重要であり、ノンバーバル（非言語的）なコミュニケーションは、副次的な役割をするだけである。
41. ウェクスラー法知能検査は、成人だけでなく、児童用、幼児用が使われている。成人用は、20 歳以上を対象とする。
42. ICD-10 は、身体疾患、精神疾患の分類体系である。ICF（国際生活機能分類）とともに世界的な診断、統計の共通言語として活用されている。
43. 災害時の医療では 3 つの T が重要とされる。それは、トリアージ (triage)、治療 (treatment)、時間 (time) の 3 つである。
44. モーズレイ著の「精神病約説」では、隔離は病気を誘発する光景から患者を避けるために治療効果があるといわれていた。
45. 「道徳療法」は別名「モラル療法」ともよばれ、社会常識や規律を患者に訓練する治療法である。
46. 1948 年（昭和 23 年）に制定された医療法では、他科と比較して精神科の医師は 1 / 3（48 : 1）、看護職は 2 / 3（6 : 1）でよいという「精神科特例」が定められた。
47. 入院病棟の機能として、1 日に 8 時間以上、病棟の出入り口を施錠されていない状態にある病棟を開放病棟といい、それ以外の病棟を閉鎖病棟という。
48. 医療安全管理体制は、2004 年診療報酬において入院基本料の算定要件となり、2006 年診療報酬では「医療安全管理体制未実施減算」と改定された。
49. 事故分析モデルは、SHELL 分析、4M4E 等の手法が広く知られている。

50. データの形態は、数値データ、言語データの 2 つに大別され、数値データには、計量値、計数値、順位値がある。
51. パレート図とは、棒グラフと折れ線グラフを組み合わせた複合グラフであり、重点思考を実践するのに役立つ。
52. ABC 分析とは、管理に必要な要因の全体を ABC に分類して、影響力のある大きな要因を見つけ出す分析手法である。
53. ヒストグラムは、データの範囲を適当な区間に分割し、各区間に存在するデータの個数を集計した表であり、これを基に作成したグラフが度数分布表である。
54. プレゼンテーションとは、情報伝達の一方法で、聞き手に対して情報、企画、提案を提示して説明する行為である。
55. 診療報酬の単価は、全国一律であり、保険者、被保険者の種別にかかわらず同様に適用される公平なシステムである。
56. 介護サービスは、地方自治体の窓口に依頼し、介護支援専門員による訪問審査等の審査及び居宅サービス計画の作成を受けることによって利用することができる。
57. 2006 年診療報酬改定において設定された看護職員の「実質配置」基準は、これまでの「夜間勤務等看護加算」と異なるため、実際に提供された看護を評価することができない。
58. 文部科学省の定義によれば、特段の身体的な病気がないにもかかわらず、年間 60 日以上欠席した者が不登校児童・生徒とされる。
59. ヘンダーソンの身体を清潔に保ち身だしなみをよくし、皮膚を保護するニードはマズローの生理的ニードに該当する。
60. ソーンダイクが問題箱を用いてネコの問題解決の実験を行った結果、学習は試行錯誤のプロセスを経て、習得するので、ものごとを習得する際には、ある程度の試行回数が必要であることがわかった。
61. 第 2 次大戦前と後の学校教育制度の大きな違いのひとつとして、戦前は単線型であるのに対し、戦後は複線型に変わったことである。
62. 事例検討会では事例提出者以外のメンバーは自分の名前や所属、出席の動機を明らかにする必要はない。
63. 精神科看護の看護過程のプロセスは他科における看護過程のプロセスとは構成要素が異なる。
64. 患者の訴えである主観的データと看護師の判断の区別を明確にして記録することは、事実を明確にし、互いの権利を守るために必要である。
65. 研究方法論には、研究目的によらず、有名な方法を用いると研究の価値があがる。
66. 少子高齢化が進行すると労働人口が減少し、世代内連帯によって成立している社会保障制度の持続可能性が疑問視され、日本社会の存立基盤が脆弱化することが予測される。
67. わが国の社会保障給付費は急速に増加しているとはいえ、ヨーロッパ諸国と比較すると

低い水準になっている。

68. ロバーツらによる自立生活運動は、リハビリテーションの目標を ADL の向上から QOL の向上へと変換させるうえで大きな影響を与えた。
69. チーム医療では、専門の異なるさまざまな職種が連携する。医療チームのメンバーは、患者あるいは障がい者を支援するために、それぞれの専門性に立脚した独自の動きが保証される。メンバーの専門性をお互いに尊重しながらも、チームの中で患者理解を共有し、その上で決定された治療方針に即して、自らの専門性を発揮することがチームの連携となる。
70. 新規の抗うつ薬には SSRI（選択的セロトニン再取り込み阻害薬）と SNRI（セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬）があるが、三環系や四環系など従来の抗うつ薬もセロトニンとノルアドレナリンに対する効果が主たる作用である。
71. スペシャリストは、ジェネラリストと管理者が存在してはじめて機能できる人的資源である。
72. 個人の組織へのかかわり方には、「退出」「発言」「忠誠心」があるが、管理者は職員が黙って退出せず、忠誠心を持って組織にとどまるような配慮が重要である。
73. 6 歳から思春期に入るまでをエディプス期という。
74. もうろう状態は意識野の狭縮を中心症状とし、意識混濁の程度も高度である。
75. 強迫行為を呈している人は、その行為が不合理であるという自覚が全くない。
76. 脳血管性認知症における人格の変化は、アルツハイマー型認知症に比べ、比較的良好に保たれることが多いといわれている。
77. 昏迷状態では意識混濁がみられ、その状態にある人は外界の認知が全くできなくなる。
78. 生まれてきたばかりの子どもは生物として生きるために本能に従って行動するようにプログラミングされている。
79. サイコドラマとは、事前にシナリオを作っておき、患者が参加したときに自由に役割を決めて行う劇のような取り組みである。
80. 事前ミーティングや事後ミーティングはグループワークとは直接関係のないことであるので、病棟看護師なら誰がおこなってもよく、朝の申し送りなどでまとめて行っても良い。
81. 「精神疾患を有する者の保護及びメンタルヘルスケアの改善のための諸原則」国連決議（原則 16）では、非自発的に入院したすべての患者は、退院を制限する基準が満たされない限り、いつでも精神保健施設から退去する権利を有し、患者にはこの権利が告知されることが述べられている。
82. 障害者自立支援法による、総合的な自立支援システムの全体像は、自立支援給付と地域生活支援事業で構成されている。
83. 心神喪失者等医療観察法において裁判所が「医療を受けさせるために入院させる旨の決定」をした場合に、指定病院（国、都道府県または特定独立行政法人および指定病院（精

神保健福祉法第 19 条の 8) が設置した指定医療機関で医療が提供される。

84. 1993 年（平成 5 年）に「障害者基本法」が成立し、身体障がい者や知的障がい者と同等に、精神障がい者もこの法律の対象となった。
85. 1960 年前後といえば、欧米諸国の多くが「脱施設化運動」に取り組み、精神病床の削減に向かった時期である。
86. 看護組織における組織風土は、組織文化に従属している。
87. 患者が適切なサービスを受けることができたかどうかについての評価は、患者の表情や健康の回復度を見るだけでわかる。サービス提供の仕組みや内容については考えなくて良い。
88. EBM（Evidence Based Medicine）とは科学的根拠に基づく医療とも言われ、治療効果が科学的に実証されている治療法のこと、正しい治療法である。それに対して、科学的根拠に基づかない医療は治療効果がない医療である。
89. 多くの病院で実践されている患者参画型看護の考え方に近い看護理論家はキングである。
90. 認知症は、脳の循環障害・感染症・外傷・老人性変化などによる脳の広範な器質性病変によって、一度発達した知能が低下する精神障害である。
91. レヴィ小体認知症とは、発症が若年で、側頭葉・前頭葉などの脳の特定の部位が萎縮することが特徴の変性疾患による認知症である。
92. わが国では現在、200 万人以上がアルコール依存の状態であると推定されている。アルコール依存の生涯罹患率は、男性で 10%、女性で 3~5%であるとされている。
93. 一般人口におけるうつ病の生涯罹患率は、男性で 15%、女性で約 25%と高率である。
94. 急性ストレス反応とは、心理社会的要因によって引き起こされる感情・行動の異常である。
95. 複数の薬剤を併用することは精神科だけの問題ではないが、かぜ薬のように一時的に使用する薬剤と長期的に服薬を続けなければならないものを同列に扱うわけにはいかない。
96. 医療では、コンプライアンスを、「服薬遵守」という意味で用いている。
97. 向精神薬は、「麻薬および向精神薬取締法」により規定されている物質で、中枢神経系に作用して精神機能に影響を及ぼす物質である。
98. ジョハリの窓は、1955 年に米国の心理学者ジョセフ・ラフト（Joseph Luft）とハリリー・インガム（Harry Ingham）によって考案された、対人関係についてのモデルである。このモデルは、人の心を 4 つの窓として説明するだけでなく、それが、他者とのかかわりとどう関係し、どう自分自身の成長につながっていくのかを動的に理解する手がかりとなることが特徴である。
99. 精神科認定看護師には、認定領域の技術提供はもちろんのこと、ほかの看護師の相談に

のったり、ほかの医療職者と協働して働くことが求められている。

100. ストレス対処行動（コーピング）は、解決のための行動だけではなく、ときには人間が環境に適応することで解決がはかれることも含めて考える。

II. 下記の文章の【 】の数字に最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号を「解答用紙-2」に記入しなさい。

1. リーダーシップスタイルは時代、環境によって変化してきた。リーダーと認められている人たちの共通のパーソナリティ特性を研究されたのが【 1 】である。しかし、リーダーの資質があるかないかよりも、状況に適した行動を取ることにあるという考え方から、オハイオ州立大学が【 2 】と【 3 】の2つの概念、ミシガン大学は【 4 】と【 5 】の2つの行動特徴を明らかにした。

【選択肢】 ア：ビジョン      イ：特性理論      ウ：構造作り      エ：支援型  
オ：生産指向型      カ：条件適合理論      キ：従業員指向型  
ク：パス・ゴールド理論      ケ：配慮      コ：指示型

2. 組織の目的を達成するためには組織強化が必要である。強い組織文化は、組織の中心的価値が保持されて、広く共有されるために、職員間に強い団結が見られ、【 6 】の傾向が減少する。また、ルールや規制の提供が不要で【 7 】が低くなる。しかし、弊害として【 8 】やグループシフトが生じる。また、環境が変化しているのに、固定された文化は適切でなくなり、【 9 】を用いた組織分析を行って変革を推進する。

【選択肢】 ア：管理コスト      イ：フィードラー      ウ：退職      エ：エンパワメント  
オ：集団浅慮      カ：SWOT      キ：コスモポリタン

3. 生まれてから2歳くらいまでの間、【 10 】や象徴機能を獲得する以前の子どもたちは動作レベルで考える。実際には無関係なものの中に、ある関係があると思ひ、その一方に働きかけることによって、他方にある効果をもたらすことができる【 11 】的思考である。【 10 】や象徴的機能を獲得すると、思考は内的活動のレベルを中心としたものになるが、幼児の思考はまだ【 12 】であり、合成的で転導の傾向が見られる。成長するにつれて、経験を通じて子どもは次第に因果関係を正しく捉えることができるようになり、物の【 13 】や保続の概念が分かるようになる。学童期の、具体的な事柄を扱いながら、ある程度論理的に考えられる具体的思考の段階を経て、目の前の物を離れて、形式的・抽象的な概念によって考える【 14 】的思考へと進んでいく。

【選択肢】 ア：意味      イ：永続性      ウ：前論理      エ：呪術      オ：言葉  
カ：観念的      キ：自己中心的      ク：抽象      ケ：象徴      コ：機能

4. 思考の障害には様々なものがあるが、その中でも【 15 】は、思考の進行が途中で突然停止する状態で、【 16 】に特徴的な症状の1つである。また、【 17 】は考えが頭に浮かばず思考の進行が遅くなる状態で、【 18 】の基本症状である。その他、迂遠は、特に【 19 】で多く認められる。

【選択肢】 ア：作業心拍      イ：滅裂思考      ウ：思考途絶      エ：てんかん  
オ：心気妄想      カ：強迫性障害      キ：統合失調症      ク：思考制止  
ケ：保続      コ：うつ病

5. 規範的なグループの視点として、【 20 】がグループとして働きかけるにはコミュニケーションの【 21 】が必要である。そのルールは【 22 】が妥当なものとして受け入れ納得し、それにそって【 23 】を行ってくれるものでなければならない。

それはグループを行っていくときの焦点についてのルールでもある。

- 【選択肢】 ア：焦点           イ：グループ       ウ：個人           エ：規範  
オ：メンバー       カ：目的           キ：グループアプローチ  
ク：コミュニケーション       ケ：集団           コ：やりとり

6. モレノ (J.L. Moreno) は【 24 】、すなわち集団精神療法という用語を作成した。その後、集団内の対人関係を図式化する【 25 】を考案して、集団内の人々の心理的関係性を研究し、【 26 】を創設した。

- 【選択肢】 ア：グループサイコセラピー       イ：グループアプローチ  
ウ：マップ                   エ：ソシオメトリー       オ：対人関係図  
カ：SST                   キ：認知療法           ク：サイコドラマ

7. 精神障がい者の非自発的入院を含めた【 27 】医療が許される法的根拠として、2つの考え方がある。その1つは【 28 】とは、精神障がい者は自ら主体的に被医療行為を選択し決定することができないので、本人に代わって社会が選択、決定して医療を加える必要があるという考え方である。

一方、【 29 】とは、精神障がい者の社会に与える脅威を除去し、社会の秩序を図るべきであるという思想である。

前者はあくまでも医学的根拠に立つということで、別に【 30 】モデルともいわれ、後者は、法の適正手続きに基づいてのみ許容される【 31 】モデルと称される。

- 【選択肢】 ア：アドボカシー       イ：パレンス・パトリエ       ウ：ポリス・パワー  
エ：強制                   オ：矯正                   カ：法的  
キ：特殊                   ク：標準                   ケ：医学  
コ：アドボカシー

8. 障害者自立支援法による総合的な自立支援システムの全体像は、自立支援給付と地域生活支援事業で構成されている。自立支援給付の「【 32 】給付」は、障がい起因する日常生活上で継続的に必要な支援である。一方、地域で生活するための就労支援等を行う「【 33 】給付」がある。

地域生活支援事業は、【 34 】が対応しており、主な事業としては、関係機関との連絡調整や権利擁護を行う【 35 】や創造的活動や生産活動の機会を提供したり、社会との交流促進を行ったりする【 36 】が含まれる。

- 【選択肢】 ア：訓練           イ：介護           ウ：退院支援       エ：グループホーム  
オ：相談事業       カ：地域活動支援センター       キ：都道府県  
ク：市町村       ケ：支援費制度       コ：措置制度

9. 当人のもっている問題や否定的な側面に着目して何かを是正したり、回復させたり、矯正したりする【 37 】に着目するようなアプローチだけではなく、その人のもっている【 38 】、健康な部分、残存する力に着目し、そこへの働きかけをして、変化を促すのが臨床におけるケアのヒューマンサービスである。そのためには、「行動問題をもつ人」としていったん措定し、その人のなかに【 39 】を見だし、それを強化し、自立的に問題とつきあう方へと変容を促す作業がある。これをクライアントが自ら力をつけていくという意味で【 40 】という。このような見地にたち、変化を志向し、実践的に問題を克服するための心理臨床を【 41  】、「短期療法」などとい

う。その際に、必要な社会資源や選択肢がなければ社会制度を改革し、権利擁護の活動をする。これを【 42 】という。

- 【選択肢】   ア：精神分析                   イ：社会福祉実践                   ウ：ストレングス  
                  エ：アドボカシー                   オ：パターンリズム                   カ：問題行動  
                  キ：ラベリング                   ク：来談者中心療法                   ケ：犯罪行動  
                  コ：潜在力                   サ：エンパワメント                   シ：コミュニケーション  
                  ス：コントロール                   セ：解決志向型セラピー

10. 社会保障制度とは、疾病、負傷、分娩、廃疾、死亡、老齢、失業、多子その他【 43 】の原因に対して、保険的または直接公の負担において【 44 】保障の途を講じ、生活困窮に陥った者に対しては、【 45 】によって最低限度の生活を保障するとともに、公衆衛生及び【 46 】の向上を図り、もってすべての国民が文化的社会の成員たるに値する生活を営むことができるようにすることである。

- 【選択肢】   ア：生活水準                   イ：困窮                   ウ：国家扶助                   エ：社会的  
                  オ：相互扶助                   カ：経済的                   キ：国家保障                   ク：社会福祉  
                  ケ：困難

11. OJT は、職員の教育訓練のひとつで、【 47 】と訳される。職場での実務を通して上司あるいは先輩が部下に行う【 48 】を意味する。職場内で行われるため継続的・反復的で、きめ細やかな指導が可能となり、その内容は【 49 】で【 50 】である。一方、訓練内容が日常業務に変更しがちで指導の視野が狭くなりやすく、徒弟制に陥る危険性も指摘されている。OJT の形態として【 51 】が一般的である。

- 【選択肢】   ア：具体的                   イ：職場内訓練                   ウ：原理                   エ：集合教育  
                  オ：プリセプター・システム                   カ：施設外派遣教育  
                  キ：体系的知識                   ク：実践的                   ケ：個別指導

12. 薬剤情報の基本は、各製薬会社の【 52 】である。【 52 】には、承認された【 53 】と【 54 】、根拠となる【 55 】の要約、適正使用にあたって必要な使用上の注意、製剤や取り扱いについての情報など、臨床上必要な【 56 】の情報が記載されている。これらの中で、安全性との関連で重要なのは、警告、禁忌、慎重投与などの項目である。

- 【選択肢】   ア：最大限                   イ：取り扱い                   ウ：適正                   エ：一般的  
                  オ：医薬品医療機器総合機構                   カ：添付文書                   キ：用法・用量  
                  ク：臨床試験成績                   ケ：使用上の注意                   コ：最低限                   サ：効能・効果

13. 契約とは一般に、「【 57 】に基づいてお互いの行動を【 58 】し合うこと」を意味し、神との契約、社会契約、法的な契約、個人的な約束などに区別される。医療の分野における治療契約は、法的な意味合いを伴う個人的な契約であり「【 59 】の立場からの【 57 】」を前提として、「治療者が患者からの求めに応じて、治療の方法、時間、料金、期間などについて行なう約束」のことである。治療契約という考え方を精神科治療に自覚的に持ち込んだ【 60 】は、患者の弱体化した【 61 】と治療者の健康な【 61 】が同盟を結び、人格の再建に向けて行なう共同作業が精神療法であると考えた。

【選択肢】 ア：相手           イ：合意           ウ：エリクソン   エ：不安   オ：対等  
              カ：確認           キ：自我           ク：制約           ケ：フロイト   コ：説明

14. 心神喪失等医療観察法において医療機関が最初に対象者にかかわるのは【 62 】である。【 62 】の期間の上限は【 63 】ヵ月とされている。  
医療観察病棟における入院治療は【 64 】ヵ月が予定されている。治療は、急性期、回復期、社会復帰期の3つのステージに分かれ、それぞれの到達目標が設定されている。  
指定通院医療機関は、精神科医療を専門に実施している都道府県立精神科病院とともに、一定の水準の医療を提供できる民間精神科病院等も指定されている。通院処遇の期間は原則として【 65 】年間で、裁判所の決定によってその期間を終了したり、【 66 】年間を超えない範囲で延長することができる。

【選択肢】   ア：鑑定留置           イ：1～2           ウ：2～3           エ：2  
              オ：3               カ：5               キ：鑑定入院       ク：12  
              ケ：18               コ：24

15. 精神科医療では【 67 】【 68 】などの非自発的入院、【 69 】などの行動制限に代表されるような【 70 】を行なうことがある。行動制限にあたっては、【 71 】の原則が守られなければならない。

【選択肢】   ア：任意入院           イ：人権の制限       ウ：医療保護       エ：代理行為  
              オ：刺激の制限       カ：緊急性           キ：一時性           ク：措置入院  
              ケ：隔離・拘束       コ：応急入院       サ：最少制限

16. 病床利用率と平均在院日数には【 72 】関係があり、病床利用率の向上を目標とすると、【 73 】が延びる可能性があり、その逆に平均在院日数の削減を目標とすると【 74 】が下がってしまう恐れがある。

【選択肢】   ア：負の相関           イ：正の相関           ウ：医業収益  
              エ：平均在院日数       オ：人件費           カ：病床回転率  
              キ：病床利用率

17. 1987年（昭和62年）に制定された「精神保健法」の主な内容は、精神障がい者本人の同意に基づく【 75 】を創設したこと。精神科救急に対応するため【 76 】を創設したこと。精神衛生鑑定医制度を【 77 】に改めたこと。精神科病院に対し【 78 】による報告徴収・改善命令の規定を設けたこと。そして、法の目的・責務に【 79 】を明記し、精神障害者社会復帰制度を創設したことである。

【選択肢】   ア：都道府県知事等       イ：緊急入院制度       ウ：応急入院制度  
              エ：普及・啓発の促進   オ：同意入院制度       カ：社会復帰の促進  
              キ：精神鑑定医制度     ク：任意入院制度       ケ：厚生大臣等  
              コ：精神保健指定医制度   サ：就労の促進       シ：精神医療審査会制度

18. 介護保険制度におけるサービス提供の基本理念は、【 80 】状態の軽減・予防の重視、【 81 】との連携、【 82 】の自由な選択による【 83 】なサービスの提供、【 84 】における自立した日常生活の重視などを挙げている。

- 【選択肢】 ア：要介護                      イ：興奮                      ウ：社会保険局                      エ：医療  
 オ：被保険者                      カ：老人                      キ：安価                      ク：適切  
 ケ：介護施設内                      コ：在宅

19. 事例検討会では、看護のプロセスについて資料だけでは情報が十分ではない場合がある。【 85 】は事例について細部まで知っているため、【 86 】の立場にたって、【 87 】がわかるよう配慮してプレゼンテーションを行うべきである。しかし、【 88 】もただ質問をしているだけで終わらないよう、自分だったらこうするという、【 89 】を述べる必要がある。

- 【選択肢】 ア：事例提出者                      イ：事例を知らない人                      ウ：反対意見  
 エ：事例の個人情報                      オ：事例の全体像  
 カ：事例の受け持ち看護師                      キ：看護診断  
 ク：自分自身の判断や意見                      ケ：参加者

20. 質問紙調査では、測定したい概念を明確にし、それぞれの概念を把握するためにもっとも適した質問紙を【 90 】。他の研究対象者との比較を行うためには、【 91 】されて【 92 】用いられている質問紙を用いるとよい。

- 【選択肢】 ア：選択する                      イ：広く                      ウ：標準化  
 エ：最近開発                      オ：作成する                      カ：狭い範囲で

21. 2005 年（平成 17 年）に制定した「障害者自立支援法」による実地主体は【 93 】になった。費用負担については、サービス利用者がサービスの【 94 】と【 95 】に応じた負担を行うことになった。通院医療公費負担については、【 96 】に移行することで、本人負担がこれまでの 5%から原則【 97 】となった。

- 【選択肢】 ア：所得                      イ：利用量                      ウ：3 割                      エ：還付金制度  
 オ：質                      カ：10%                      キ：都道府県  
 ク：サービス事業者                      ケ：障害の程度                      コ：7%、  
 サ：自立支援医療費                      シ：市町村

22. 診療報酬制度は、【 98 】【 99 】【 100 】の 3 者で成り立っている。

- 【選択肢】 ア：中央社会保険医療協議会                      イ：市町村                      ウ：保険者  
 エ：被保険者                      オ：納税者                      カ：企業  
 キ：保健所                      ク：医療提供者